

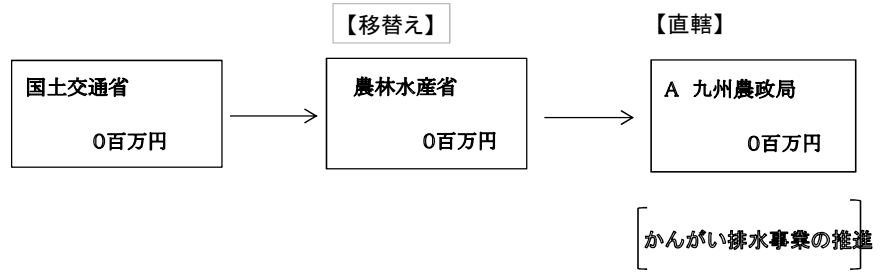
平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	奄美振興事業 (東日本大震災関連)		担当部局庁	国土政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H23		担当課室	特別地域振興官		特別地域振興官 岡野 克弥	
会計区分	一般会計/東日本大震災復興特別会計		施策名	10-39 離島等の振興を図る			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	奄美群島振興開発特別措置法第6条第1項、海岸法第27条、道路法第56条、港湾法第42条第1項及び第2項、土地改良法第126条等		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「東日本大震災復興基本法」に基づく、東日本大震災からの復興の基本方針における取り組みの一環として大震災の教訓を踏まえた国づくりの推進を図るため、「奄美群島振興開発特別措置法」に基づき、奄美群島において、緊急に実施する必要性が高く、即効性のある防災、減災等のための施策を実施する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、奄美群島振興開発特別措置法に基づき、国の策定した「奄美群島振興開発基本方針」及び同基本方針に基づき鹿児島県が決定した「奄美群島振興開発計画」に基づく事業の推進を図るもの。奄美群島振興開発計画に基づく事業については、同法第6条第1項及び第3項の規定に基づき、通常の国の負担又は補助の割合を嵩上げて支援している。 具体的な事業としては、道路(補助率9/10等)、農業農村整備等 						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算			0	124	-
		繰越し等			214	-	
		計			△ 214	214	
	執行額			0	338	-	
	執行率(%)			0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
	奄美群島の総人口 ※各省の所管部局において、個別の事業単位毎に成果目標を設定	成果実績	121千人	120千人	119千人	114千人	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	各省の所管部局において、個別の事業単位毎に活動指標を設定	活動実績 (当初見込み)	-	-	-	(-)(-)	
単位当たりコスト	各省の所管部局において、個別の事業単位毎に設定された異なる単位により算出される		算出根拠	-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	社会資本整備総合交付金	124	264				
	計	124	264				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	奄美群島の市町村に対する補助事業であり、「東日本大震災からの復興の基本方針」に基づき、地元からの要望を踏まえ、国として優先度が高い事業を実施している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	国は、補助金の交付を決定する際に積算資料等により使途や事業内容等を把握している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業は、平成23年度補正予算(第3次)において年度途中で予算措置されたものであり、やむなく繰り越したものであるが、執行手続きを進めていることを随時確認している。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>・本事業に係る予算は、閣議了解に基づき、事業の総合性を確保するため、その予算を国土交通省の所管に一括計上し、その使用に際して各省所管に移替を行っているが、奄美群島振興開発計画に基づき、事業の総合性の確保並びに計画的かつ効率的な事業執行を図られるよう各省の各所管部局と連携を取っている。</p> <p>・また、本事業の実施にあたっては、各省事業執行部局において、個別公共事業の新規事業採択時評価等を行っており、補助事業にあつては、各事業執行部局において、支出先である地方公共団体等の申請に基づき使途を把握した上で補助金の交付を決定し、事後においても完了検査を実施することにより事業目的に沿った効果的な使われ方になっているか確認している。</p> <p>・当該経費は、平成23年度補正予算(第3次)において年度途中で予算措置されたものであり、やむなく繰り越した事情も確認しており、引き続き執行手続きを進めていることを随時確認している。</p> <p>・本事業は地理的・自然的条件(外海離島、台風の常襲地帯)、歴史的経緯(昭和21年から昭和28年まで行政分離)など奄美群島の特殊事情にかんがみ、奄美群島振興開発特別措置法に基づき実施するものであり、相応の成果を上げてきているが、奄美群島は、台風の常襲地帯であり、近年の豪雨災害に加えて、地震活動が活発であり、自然災害が発生しやすい状況下にあることから、奄美群島の自立的発展を図るためにも、東日本大震災を教訓とした災害に強い国土基盤の整備が必要である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	奄美振興事業を構成する各種の公共事業については、各所管において事業の重点化など必要な見直しを行うこととするが、奄美群島振興計画に基づく事業については引き続き国土交通省に一括計上する仕組みとして、奄美群島に係る公共事業の総合性の確保、計画的かつ効率的な事業執行を図る。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A九州農政局			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
離島振興事業費	かんがい排水事業	0			
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。費目と使途の双方で
 実情が分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	九州農政局	かんがい排水事業	0	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					